

【高萩市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）等を踏まえ、高萩市では目指す学びの姿を「児童生徒一人ひとりが自分の特性や理解度・進度に合った知識の探求」とする。具体的には、1人1台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、ダイバーシティー社会で一人ひとりの能力を十分に発揮できること、多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びができることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

高萩市では、これまで1人1台端末の整備と共に、校内無線LAN環境、学習支援サービス等のICT環境整備を進めてきた。また、ICT支援員と協力し、授業での活用も徐々に進んできており、児童生徒同士で意見交換を行い、課題解決に取り組むといったことも行われている。一方で、教職員のICTを活用した指導力については、教職員の意識・スキルといった面で学校内又は学校間での格差がある。今後、より一層1人1台端末の利活用を進めていくには、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められると考えている。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

まず、児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現することで、児童生徒が1人1台端末を日常的に利活用できる環境を作り、児童生徒の個性や能力、可能性を広げる教育の一助とする。

次に、特別な支援を要する児童生徒の実態に応じて端末を活用した支援など、ICTを活用して安心して学ぶことのできる環境を作る。

そして、教職員向けのICT研修を設け、受講率を100%にすることに加え、教職員の理解度に合わせた協力体制を作る。